

古田肇知事に農業施策に関する要請書を手渡す櫻井宏 J A 岐阜中央会会長(左) 27日午前、県庁



豪雨被害や豚コレラ、農家支援を

J Aグループが要請書

県に提出

県 J Aグループの代表者は27日、県庁を訪れ、今年7月の西日本豪雨や家畜伝染病「豚コレラ」で被害や影響を受けた農家の支援を求める緊急要請書と、県の来年度予算編成における農業施策への要請書を古田肇知事や尾藤義昭県議会議長に提出した。

訪れたのは、J A岐阜中

央会の櫻井宏会長をはじめ、J A岐阜共済連や J A岐阜厚生連、J A全農岐阜などの代表者ら7人。

緊急要請では、西日本豪雨や台風21号で被害を受けた農家の経営再建の支援や、豚コレラの影響で出荷自粛となった農場の経営支援などを求めた。

農業施策への要請書で

は、農畜産物の国際認証制度 GAP に対応した残留農薬分析機関の設置支援のほか、担い手育成や高品質な農畜産物づくりに向けた普及指導員と農業革新支援専門員の増員、飛騨牛ブランドの向上や生産振興、病院施設の耐震化の補助拡大などを求めた。櫻井会長から要請書を受け取った古田知事は「緊急要請は補正予算で可能な限り対応する。来年度予算については提言をしっかりと検討したい」と語った。

(宮本寛)